

平成25年2月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成25年2月19日（火）午後1時36分～午後2時30分
- 2 場 所 所沢市役所7階 研修室
- 3 出席者 [委 員] 富田常世委員長、京谷圭子委員長職務代理者、吉本理委員、
中川奈緒美委員、佐藤徳一教育長
[事務局] 山寄裕司教育総務部長、平塚俊夫学校教育部長兼教育センター所長、齊藤雅裕教育総務部次長、齋藤敏男学校教育部次長兼学校教育課長、則武辰夫生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、北田賢司教育施設課長、浅野浩一社会教育課長、内堀耕介スポーツ振興課長、富田一成文化財保護課長、仲法寛所沢図書館長、市川雅美教育総務課主幹兼教育企画室長、沼田芳行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長
[書 記] 大部稔之教育総務課主査、鈴木明彦教育総務課副主幹
- 4 前回会議録の承認
- 5 会議の傍聴者 別添のとおり（1名）
- 6 開 会 本日の議案は、追加議案第32号の1件。「議案第32号 教職員の人事について」は、人事に関する審議のため非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。
- 7 議 題

【 傍聴者1名及び関係者以外退室 午後1時38分 】

●議案第32号 教職員の人事について

資料に則り、齋藤学校教育部次長から説明がなされた。

※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 傍聴者 1 名及び関係者以外入室 午後 1 時 5 3 分 】

8 協議事項 平成 2 5 年度教育行政推進施策（案）について

資料に則り、市川教育総務課主幹兼教育企画室長から説明がなされた。

以下、質疑。

（富田委員長）

昨年度と大きく変わったところはございますか。

（市川教育総務課主幹）

1 ページ、2 ページをご覧くださいますと、主な事業の欄にカッコ新規として記載されているものがいくつかあると思いますが、その新規事業につきまして、主に来年度追加になる事業でございます。他の事業につきましては、ほぼ前年と同じ事業を継続しております。

（佐藤教育長）

いくつか新規事業をご説明してみまじょうか。

（富田委員長）

はい。お願いします。

（佐藤教育長）

「健やかな体の育成」の中にある新規事業について、概要説明してもらえれば、わかりやすいと思います。

（中村保健給食担当参事）

まず、学校給食施設親子方式整備事業について説明させていただきます。

この事業は学校給食センターの老朽化に伴って、単独校を整備しながら、給食施設を整備していく内容でございます。柳瀬小学校、和田小学校、南小学校の親子方式のために、2 5 年度は柳瀬小学校の工事設計を予算化させていただいております。それから和田小学校につきましては、2 5 年度に調理機器の整備を行い、小学校で給食を作り、中学校へ届ける親子方式をスタートさせるという準備を 2 5 年度に行うというものでございます。次に、学校給食管理システム更新事業でございますが、これは主に学校給食の献立作成で

あるとか、食材調達等をシステム化したものですが、25年度におきましては、システムのハード面である機器を更新する事業を予定しております。また、教育ネットワークとのリンクを給食管理システムにおいても、連携をとっていく準備を行うものでございます。

(富田委員長)

図書館の新規事業はどのような内容ですか。

(仲所沢図書館長)

21ページをご覧ください。図書館サービスの向上の3番目に所沢図書館施設整備事業がございますが、こちらに記載されておりますとおり「所沢市公共建築物修繕計画」に基づきまして、本館にございます停電時の非常灯等予備電源につきまして改修工事を行うものでございます。所沢図書館は昭和55年に開館し、設備面がかなり老朽化しておりますので、電源装置を改修することによりまして、停電時に備え、利用者の安全安心の確保を図るものでございます。

(富田委員長)

4ページの中学生海外文化交流派遣事業についてですが、これは行った生徒達が現地の生徒と交流したり、グループ活動を通してのことがメインだと思うのですが、帰国後に各学校で、行ってきたことについての経験を伝えることで、国際社会に対応できる人材の育成を図るという、要するに行った人だけというのではなく、身近な人から話を聞くと、他の中学生にとっても、国際社会に目を向ける良い機会となるので、そのあたりを派遣事業の中では、派遣することも大事ですけれども、戻って来てから広めるということも含むのではないのかと思います。そうすれば、この派遣事業がもっと有意義な事業として拡大するうえでも大事なのではないかと思いますので、そのあたりの言葉が入った方が良いのではという気がします。加えたほうがというのではなく、あくまでも意見ですので参考にさせていただければと思います。

(齋藤学校教育部次長)

委員長のご意見はごもっともです。これだけを見ると、事業に参加した30

名だけという感じになりますので、帰国後、各学校での報告を通して、異国の様子ですとか、国際理解など、シンガポールの現地校に行きますと逆に日本語を話す授業をしていたり、日本人学校の生徒は英語が達者にしゃべれるということなど、色々な形で体験しております。そういったものをそれぞれ15の中学校で、報告会は今も行っているわけですので、それを文言として入れさせていただけると、そういうことも広まっていくと思われしますので、非常に良いご指摘をありがとうございました。

(富田委員長)

11ページその他の事業の中に、16ミリフィルム操作技術講習会がありますが、今16ミリというものは活用しているのでしょうか。その用途というのはどうでしょうか。以前からあるので続けてやっているということでしょうか。

(平塚学校教育部長)

16ミリフィルムはDVD等が出てきました影響等もごさいますが、また違った持ち味がございまして、保育園や幼稚園などで活用されております。また、そのための資格を取得する16ミリの映写技術講習会も教育センターで行っております。

(富田委員長)

活用されているのであれば、それは資格がなければ当然操作できないものなので良いのですが、貸出フィルムも限られてしまって、教育センター位しかないのではと思います。資格を出す以上に効果があればと思いますが、予算面の事もありますので、用途がなければ他にまわせるのかと思って聞いてみたのですが、あるようなので結構です。

(京谷委員長職務代理者)

4ページのキャリア教育の推進ですが、予算が15万円というのは、講師としてきてくださった方へのお礼になるのでしょうか。

(平塚学校教育部長)

15校中学校がありますが、各校で進路意識の啓発のために、平たく言えば子ども達に夢や希望を持たせるという意味合いで、例えばプロ野球選手や青年海外協力隊、医師の方であるとか様々な職種、あるいは地域の方などをお呼びして、自分が今までやってきた仕事のことや生き様についての講演をお聞きする機会がございます。各校にしますと1万円ですので、講師謝礼で終わってしまうのですが、学校によっては、ひとりの方をお呼びするのではなく、多くの方に協力していただき、それをワークショップのような形でお話を聞くという工夫をしている学校もございます。ほとんどは講師謝礼で使用されております。

(京谷委員長職務代理者)

基本的には少ない気がします。というのは、学力の向上とか、そういう目先の学力だけで終わってしまうと、その先に目指すものを持たないと、生きる力というものに繋がっていかないと思います。ですから、その先の目標を持たせるためには、キャリア教育の推進というものはすごく良いことだと思うので、もう少し力を入れても良いのではと単純に思います。

(平塚学校教育部長)

この事業自体は、年に1回程度の講演会が普通でございますが、キャリア教育とか進路指導とすると年間指導計画がありまして、年間を通じて様々な職業について学んだり、あるいは高校など上級学校について学んだりしています。進路指導の年間計画やキャリア教育の年間計画の中のひとつとして位置付けており、他の内容と関連付けて学んでおります。欲を言いますと、もう少し予算があればいいと思いますが、各学校で工夫して行っております。

(京谷委員長職務代理者)

8ページの学校保健の充実のところですが、児童・生徒の検診に、できれば整形外科医の検診を入れていただけると、すごくいいと思います。整形外科は今、実際には内科医が皮膚や整形についてチェックしているのですが、できれば専門医の診察が入ると嬉しいと思います。

(中村保健給食担当参事)

整形外科の先生が可能かどうか、内部で調整させていただきたいと思います。

(吉本委員)

16ページの青少年教育の推進のところ、ガールスカウト・ボーイスカウト活動助成事業というのがありますが、今、構成員はどれくらいで、何団体くらいあるのでしょうか。

(浅野社会教育課長)

所沢ではガールスカウト・ボーイスカウトはそれぞれ2団ずつございます。ボーイスカウトは2団の団員合計が約140名、ガールスカウトが約60名でございます。

(吉本委員)

聞きたかったのは、長い歴史がある団体でいいと思うのですが、ボーイスカウトやガールスカウトの事業をされている方たちが、色々な委員会の委員として出てこられることがあるのですが、たくさん子ども達の本当に代表なのかと、見ているとだんだん先細りしているような気がします。助成することに対しては問題ないのですが、多くの子どもの代表者であるという形を常に気をつけていただければと思います。

(中川委員)

15ページの家庭教育への支援、家庭教育推進事業ですが、これからの家庭教育学級のことですが、私自身、小学校・中学校を通して家庭教育学級の学級生として参加しておりました。大変有意義で良かったとは思いますが、最初に入った時の各校の予算が8万円だったのですが、だんだん減らされて今年は確か6万円だったと思います。その予算の中で7～8講座をやらなければならないので、現場の委員さんも四苦八苦しておりました。もちろん、安くお願いするところを探すことはできるのですが、そうなる言い方はあまり良くありませんが、利害が絡んで、利益誘導型の講座になってしまっても、ちょっとそれは違うのかと思いますし、もしもこれを継続するのであれば

ば、開催しなければならぬ講座数を減らす方法では無理なのかと思ひます。もうひとつは中学校ですが、学級生が激減してしまひます。仕事に出られる方が増えるためか、我が校も例外ではないのですが、非常に寂しく思ひます。講座を開催しても聴講生が10数名ということがあると、大変申し訳ないと思ひます。私は今年、自分のつてで講師の方をお呼びしたのですが、謝金は5000円で、内容はきちんと用意してきてくださったのですが、聴講生が10数名という感じでした。続けるならいいと思ひのですが、もう少しやり方を変えるなど考えていただけたらと思ひます。

(浅野社会教育課長)

講座数ですが、概ね8～9回と申しあげておりますが、回数を減らすことによつて内容を充実することが可能なのか、内部でも検討していきたくと思ひます。また、中学になつて参加者が減るといふことはございませうが、参加された方が他の方に講座の内容をお知らせいただくなど、研究しなければいけないと思ひております。運営委員をされた方からは交流や学校とのつながりができて良かったといふ意見もいただいておりますので、今後検討していきたくと思ひます。

(富田委員長)

今後、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願ひします。

(市川教育総務課主幹)

ご協議ありがとうございました。ただいまいただきましたご意見を踏まえまして、次回3月の定例会に議案として提出させていただきたいと思ひておりますので、よろしくお願ひいたします。

9 報告事項

- 平成24年度所沢市スポーツ大賞について(スポーツ振興課)
- 埋蔵文化財調査センター発掘調査報告会・講演会について(文化財保護課)
- 平成24年度図書館要覧について(所沢図書館)
- 所沢第二幼稚園・市内小中学校の学校行事、今後の予定について(学校教育課)
- 県公立高等学校学力検査得点の中学校からの開示について(学校教育課)

○平成25年度全国学力・学習状況調査の実施について（学校教育課）

10 その他

・教育委員会3月定例会：3月19日（火）午後1時30分～ 7階研修室

・教育委員会4月定例会：4月26日（金）午後1時30分～ 602会議室

11 閉会 午後2時30分